



慶應義塾大学病院の理念

患者さんに優しく患者さんに信頼される患者さん中心の医療を行います
先進的医療を開発し質の高い安全な医療を提供します
豊かな人間性と深い知性を有する医療人を育成します
人権を尊重した医学と医療を通して人類の福祉に貢献します

慶應義塾大学病院 臨床研修修了 コンピテンシー

- I. プロフェッショナリズム
- II. 医学知識
- III. 診療の実践
- IV. コミュニケーション
- V. 医療・福祉への貢献
- VI. 科学的探究
- VII. 国際医療人としての資質
- VIII. 医療安全と医療の質
- IX. チーム医療



初期臨床研修プログラムに寄せて

慶應義塾大学病院 病院長 福永 興彦

医師として歩み始める最初の二年間は、その後の専門分野や進路以上に、医療にどのように向き合うかという姿勢そのものを形づくる、極めて重要な時期です。慶應義塾大学病院は、この初期臨床研修の期間を、単なる知識や技術の習得の場ではなく、医師としての責任と価値観を確立する大切なスタートと位置付けています。

本院が一貫して大切にしているのは、常に患者さん一人ひとりに真摯に向き合う姿勢です。医療が高度化・専門化し、効率や成果が求められる時代にあっても、患者さんの不安や苦痛に寄り添い、その声に耳を傾ける姿勢なくして、信頼される医療は成り立ちません。初期臨床研修では、この「患者さんに真摯に取り組む姿勢」を、すべての臨床経験の原点として学んでいただきたいと考えています。

本研修プログラムでは、幅広い診療科を通じて多様な疾患・病態を経験し、質の高い安全な医療を実践するための基本的臨床能力を着実に身につけることを目指します。指導医のもとでの診療経験に加え、多職種との協働を通じて、医療チームの一員と

しての役割や責任を理解し、自ら考え判断し行動する力を養うことを重視しています。これらの経験は、将来どの専門分野に進まれるとしても、医師としての揺るぎない基盤となるはずで

また慶應義塾大学病院は、豊かな人間性と深い知性を備えた医療人の育成を重要な使命としています。医師は医学的知識や技術のみならず、人権や倫理、社会的責任を常に意識しながら医療に携わる存在です。この二年間を通じて、患者さんやご家族、そして社会から信頼される医師としての姿勢を身につけていただくことを期待しています。

初期臨床研修の二年間は、医師としての歩みの基盤を築く、極めて重要な時期です。本院での研修が、皆さん一人ひとりにとって確かな原点となり、将来にわたって支えとなることを願っています。

慶應義塾大学病院は、研修医の皆さんの挑戦と成長を、病院全体で支えていきます。真摯に患者さんと向き合いながら、ともに学び、ともに医療の未来を築いていきましょう。



「論理」と「情」を兼ね備えた医師を育てる — 慶應義塾大学病院の初期臨床研修 —

卒後臨床研修センター長 山口 慎太郎



医師としての初期臨床研修は、診療能力のみならず、医療に向き合う姿勢や価値観が形成される極めて重要な時期です。初期研修をどのような環境で過ごすかは、その後の医師人生に大きな影響を与えます。

近年、手技経験や症例数を重視し、市中病院での研修を選択される方が増えています。私自身も、慶應義塾大学病院の「地域—大学循環プログラム」を選択し、医師としての最初の1年間を市中病院で研修しました。現場で患者さんと真正面から向き合い、生活背景や社会的要因を含めて診療を考える中

で、患者さんとの信頼関係を築いていく医師としての「情」の重要性を学びました。一方で、医療の高度化・複雑化が進む現在、医師には科学的根拠に基づき病態を「論理的」に考察し、わかりやすく説明する力がこれまで以上に求められています。

慶應義塾大学病院の初期臨床研修の特長は、こうした「情」と「論理」の双方を体系的に修得できる点にあります。当院は、関東一円に広がる関連教育病院と連携する「慶應メディカルアライアンス」を基盤とし、段階的かつ実践的な研修体制を整えています。協力型病院での研修では、Common Diseaseを中心に臨床の基礎力を養い、大学病院では各分野の専門家の指導のもと、診断学、専門性、そして最先端医療への理解を深めます。この二段階の研修環境は、将来の専門分野にかかわらず、医師としての確かな基盤を形成します。

初期研修は、受動的に修了できるものではありません。患者さんの命を預かる責任を自覚し、自身の課題に向き合い、学び続ける姿勢が不可欠です。困難に直面することもありますが、その過程こそが医師としての成長につながります。慶應義塾大学病院には、研修医一人ひとりの挑戦を支え、適切に指導する体制が整っています。

慶應義塾大学病院の初期臨床研修を通じて、論理的思考力と患者さんに向き合う人間性を兼ね備えた医師としての基盤を築いていただけることを期待しています。意欲ある皆さんと共に、医師としての第一歩を踏み出せることを、心より楽しみにしています。



CONTENTS

- 1 病院の理念
臨床研修修了コンピテンシー
- 2 病院長メッセージ
卒後臨床研修センター長メッセージ
- 3 地域—大学循環プログラム
- 5 大学一貫プログラム
- 7 小児科医育成プログラム
- 8 産婦人科医育成プログラム
- 9 広域連携型プログラム
- 11 基礎研究医プログラム
- 12 教育指導体制
- 13 研修レポート
- 15 研修環境—院内施設
スケジュール—医科研修医募集要項
- 17 歯科・口腔外科プログラム
- 18 歯科・口腔外科研修医募集要項

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

地域 - 大学循環プログラム

2027年度定員 34名 (予定)

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 協力型臨床研修病院と、慶應義塾大学病院で1年間ずつ研修するプログラムです。

1年次に協力型研修病院で研修

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)			救急 (12週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科：各4週)
2年次	地域 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	麻酔科 (4週)	救急科 (8週)	選択 (～28週)

○一般外来の研修を行う診療科は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。○救急部門の研修については、原則、1年次に協力型病院で研修し2年次に慶應義塾大学病院で研修する場合は、1年次に救急科で12週研修し、2年次に救急科8週および麻酔科で4週研修します。○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。○協力型病院によっては1年次に研修できる診療科が限定される場合があります。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

2年次に協力型研修病院で研修

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)			救急(8週)+麻酔(4週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科：各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅を含む：4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	選択 (～40週)		

○一般外来の研修を行う診療科は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。○救急部門の研修については、原則、1年次に慶應義塾大学病院で研修し2年次に協力型病院で研修する場合は、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科で研修します。○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。○協力型病院によっては2年次に研修できる診療科が限定される場合があります。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE 01

[研修医からのメッセージ]

幅広い選択肢の中で2年間をどう過ごすか、可能性は無量大

医療の形は今大きく変わり始めようとしています。初期研修の2年間は短いようで、AIをはじめ技術革新が加速するこの時代に、キャリアの土台となる知性と感性を育む重要な時間だと思えます。だからこそ、初めて生の医療現場に立つこの時期に「何を体験し、何を考えるか」を広く選べるのが大切です。そして当プログラムの良さは、この2年間に積むことができる経験の質と選択肢の幅にあると考えます。

市中病院では責任ある一人の医師として働き、患者さんの健康や生死と向き合う厳しさや、感謝を受け取る喜びを、より近い距離で経験できます。またそのような現場に出てはじめて、いわゆる“一般的な”医療とはどう違うのかという大局観も得るこ

とができるでしょう。研修先は数多くの充実した提携病院から選ぶことができます。

一方大学病院では、よりアカデミックな環境で先端医療が実践されており、興味に応じてローテートする各診療科で、その領域を第一線で牽引する先生方と出会い直接学ぶことができます。学術的な造詣を深めるとともに、より良い医療の実現にあたっての熱量やマインドも学ぶことができると思います。

臨床医としてコアとなる「現場」での血の通った経験と、研究者として新たな時代の医療をいかに創っていくかという視座を、幅広い選択肢の中でバランス良く養っていけることが当プログラムの大きな魅力です。迷ったらぜひ、大船に乗ったつもりで挑戦してください。



2025年度
地域-大学循環プログラム
権 英祥
(1年目、さいたま市立病院
2年目、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

協力型病院と大学病院で学ぶ充実の2年間

本プログラムは、協力型臨床研修病院と慶應義塾大学病院でそれぞれ1年間ずつ学ぶ、2年間の臨床研修コースです。原則として1年目は協力型病院で研修を行います。豊富なCommon Diseaseの症例を通じて、基本的な診療手技や臨床判断力を養うとともに、チーム医療の重要性を現場で実践的に学びます。2年目は慶應義塾大学病院にて、高度先進医療に

触れながら専門性の高い診療経験を積むことができます。当プログラムには30以上の協力型病院が参加しており、各施設が特色ある研修を提供しています。また2年目には数か月の選択研修期間もあり、将来の進路を見据えた多様な科での研修が可能です。基幹病院と大学病院の双方でバランスの取れた研修を行いたい方のご応募をお待ちしています。



[プログラム責任者]
卒後臨床研修センター
センター長
山口 慎太郎

TRAINING INSTITUTIONS

2027年度 協力型臨床研修病院一覧と定員

	病 院 名	所在地	地域-大学循環		病 院 名	所在地	地域-大学循環		
			1年次	2年次			1年次	2年次	
1	太田総合病院附属太田西ノ内病院	福島県	1	1	21	日野市立病院	東京都	1	0
2	独立行政法人国立病院機構 茨城東病院	茨城県	2	0	22	稲城市立病院	東京都	1	1
3	水戸赤十字病院	茨城県	1	1	23	国家公務員共済組合連合会 立川病院	東京都	4	0
4	独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター	栃木県	1	1	24	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター	東京都	1	0
5	足利赤十字病院	栃木県	2	0	25	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立墨東病院	東京都	1	0
6	那須赤十字病院	栃木県	0	0	26	東京都済生会中央病院	東京都	1	0
7	栃木県済生会宇都宮病院	栃木県	2	1	27	横浜市立市民病院	神奈川県	3	0
8	佐野厚生総合病院	栃木県	0	1	28	一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院	神奈川県	2	0
9	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	群馬県	0	0	29	川崎市立川崎病院	神奈川県	4	0
10	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	埼玉県	2	0	30	川崎市立井田病院	神奈川県	2	0
11	さいたま市立病院	埼玉県	1	0	31	医療法人社団三成会新百合ヶ丘総合病院	神奈川県	2	0
12	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター	埼玉県	0	0	32	平塚市民病院	神奈川県	2	2
13	国際医療福祉大学成田病院	千葉県	0	0	33	社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市東部病院	神奈川県	1	0
14	東京歯科大学市川総合病院	千葉県	1	0	34	神奈川県厚生農業協同組合連合会 伊勢原協同病院	神奈川県	1	0
15	東京大学医学部附属病院	東京都	1	0	35	医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院	神奈川県	2	0
16	北里大学北里研究所病院	東京都	3	0	36	湘南東部総合病院	神奈川県	0	0
17	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	東京都	0	1	37	独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター	静岡県	1	1
18	公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院	東京都	2	0	38	静岡市立清水病院	静岡県	1	0
19	公益財団法人ライフ・エクステンション 研究所付属永寿総合病院	東京都	2	0	39	静岡赤十字病院	静岡県	1	1
20	医療法人財団荻窪病院	東京都	3	3	40	浜松赤十字病院	静岡県	1	0

※協力型臨床研修病院(予定) 2026年4月現在。上記から変更となる可能性があります。



5 足利赤十字病院



37 独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター



11 さいたま市立病院



16 北里大学北里研究所病院



22 稲城市立病院

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

大学一貫プログラム

2027年度定員 9名(予定)

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間に慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。

※ローテーションは順不同

1年次	内科(24週)		救急(8週)+麻酔(4週)		外科・小児・産婦・精神 (1~3診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅を含む:4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科:各4週)	救急(8週)	麻酔(4週)	選択(~28週)

- 一般外来の研修を行う診療科は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。
 - 救急部門の研修については、原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科で研修します。2年次は救急科を8週および、麻酔科を4週研修します。
 - 2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。
- *当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE 02

[研修医からのメッセージ]

学び続ける姿勢を育てる研修

私が慶應義塾大学病院を研修先に選んだ理由は、臨床・研究・教育を一貫して行える環境に強く魅力を感じたからです。高度急性期医療を担う基幹病院として多様で重症度の高い症例を経験出来ることに加え、体系化された教育体制のもとで段階的に実力を高めていける点が大きな決め手となりました。大学一貫プログラムでは、関連施設も含めて幅広い医療現場を経験しながら、将来を見据えた継続的な研修を積むことが出来ます。当院では指導医の先生方が診療の背景にある思考過程や意思決定の根拠まで丁寧に指導してくださり、日々の診療がそのまま深い学びに直結しています。私は将来救急医を志しており、緊急度と重症度の高い患

者に向き合う現場で迅速かつ的確に判断できる力を養いたいと考えています。そのためにも、常に高い基準を求められる環境に身を置き続けたいと考えました。ローテーション中は多忙な日々が続きますが、自己研鑽の時間を意識的に確保し、一つ一つの症例に真摯に向き合うことを大切にしてきました。昨日より今日、今日より明日と出来ることが増えていく実感が、自然と自分に負荷をかけ続ける習慣を形成し、主体的に成長を求める姿勢へとつながっています。医学生の方々には、質の高い教育環境の中で主体的に挑戦し続けられる当院で、医師としての確かな土台を築いてほしいと思います。



2025年度
大学一貫プログラム
永見 祐大
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

最高の環境で、あなたの理想の医師像を見つけよう

将来どんな医師になりたいですか? 慶應義塾大学病院での2年間の研修は、その答えを見つける最高の機会です。

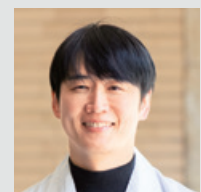
本プログラムの特徴は、研修医一人一人の興味や目標に合わせてプログラムをカスタマイズできる高い自由度にあり、幅広く様々な診療科を経験することが可能です。

各診療科には、その分野を代表する指導医が揃っています。最先端の医療技術や治療法を間近で学べることはもちろん、診療科の垣根を越えた活発なディスカッション、臨床研究、国際交流など、大学病院ならではの知的刺激に満ちた環境があなたを待っています。

救急外来では豊富な症例を経験でき、基本的な診療能力も着実に身につけることができます。

研修医同士の絆も魅力の一つです。全国から集まった意欲的な仲間たちと切磋琢磨しながら、生涯の友情を育むことができます。

さらに、当院での研修は様々なキャリアパスへの扉を開きます。臨床医として、研究者として、あるいはその両方として、あなたの可能性を最大限に広げる機会がここにあります。医師としての第一歩。慶應で共に歩み始めませんか? 見学はいつでも大歓迎です。あなたとお会いできることを楽しみにしています。



[プログラム責任者]
卒後臨床研修センター
副センター長
本間 康一郎

TRAINING INSTITUTIONS

2027年度 地域医療研修先病院一覧



7 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院



11 社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター



14 社会福祉法人仁生社 江戸川メディケア病院



38 社会医療法人 青洲会 青洲会病院

	病院名	所在地		病院名	所在地
1	宗谷医院	北海道	22	おうちにかえろう。病院	東京都
2	岩手県立千厩病院	岩手県	23	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック品川	東京都
3	一般財団法人みちのく愛隣協会 東八幡平病院	岩手県	24	医療法人社団悠翔会 くらしケアクリニック城東	東京都
4	医療法人社団帰厚堂 南昌病院	岩手県	25	医療法人社団悠翔会 悠翔会くらしケアクリニック練馬	東京都
5	新潟県厚生農業協同組合連合会 小千谷総合病院	新潟県	26	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック新宿	東京都
6	医療法人 賛永会 さつきホームクリニック	栃木県	27	医療法人財団はるたか会あおぞら診療所うへの	東京都
7	公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院	群馬県	28	医療法人財団はるたか会あおぞら診療所せたがや	東京都
8	医療法人 明医研ハローモニークリニック	埼玉県	29	キラリこどもクリニック	東京都
9	医療法人慶聴会 矢澤クリニック北本	埼玉県	30	医療法人社団淳友会 わたクリニック	東京都
10	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック川口	埼玉県	31	野村皮膚科医院	神奈川県
11	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター	千葉県	32	関野小児科内科クリニック	神奈川県
12	医療法人社団ほつきたなら駅上ほっとクリニック	千葉県	33	医療法人社団Matera 丸山クリニック	神奈川県
13	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック柏	千葉県	34	医療法人社団健育会西伊豆健育会病院	静岡県
14	社会福祉法人仁生社 江戸川メディケア病院	東京都	35	医療法人ゆうの森 たんぼほクリニック	愛媛県
15	医療法人社団三育会 新宿ヒロクリニック	東京都	36	医療法人ゆうの森 たんぼほ俵津診療所	愛媛県
16	医療法人慶聴会 矢澤クリニック渋谷	東京都	37	国民健康保険 平戸市民病院	長崎県
17	医療法人社団友仁会 赤坂見附前田病院	東京都	38	社会医療法人 青洲会 青洲会病院	長崎県
18	社会医療法人河北医療財団天本病院	東京都	39	医療法人医理会 柿添病院	長崎県
19	岡崎クリニック	東京都	40	医療法人医理会 柿添病院中野診療所	長崎県
20	医療法人社団楓の風 在宅療養支援クリニックかえでの風	東京都	41	平戸市立生月病院	長崎県
21	医療法人社団 清泉会 山王リハビリ・クリニック	東京都			

※地域医療研修先(予定) 2026年4月現在。上記から変更となる可能性があります。

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

小児科医育成プログラム

2027年度定員 2名(予定)

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間に慶應義塾大学病院で研修する、小児科医を目指す人のためのプログラムです。

※2年次のローテーションは順不同

1年次	小児科 (8週)	麻酔科 (8週)	救急科 (8週)	内科 (24週)			
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む: 4週)	小児科 (4週)	NICU (4週)	小児外科 (4週)	精神科 (4週)	産婦人科 (4週)	選択 (24週)

研修は小児科からスタート

大学外での研修も可能

- 麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします(本プログラムについては、更に麻酔科を+4週としています)。
- 一般外来 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週間以上行います。
- 病院長から特別な許可を得て、合計最大で3か月まで大学以外の施設(東京都小児総合医療センター、川崎市立川崎病院、さいたま市立病院(小児科、NICU)など)での研修も可能です。
- 二葉乳児院や島田療育センターの子どもを通じて社会情勢を学ぶ事も可能です。



都立小児総合医療センター

*当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE from CENTER STAFF

臨床能力に加えて豊かな人間性や科学的探究心を持つ小児科医を育成します

厚生労働省が定めた医師臨床研修制度の基本理念を基に、将来の小児科医を育成するために子どもに関わる診療科を重点的に研修するために組まれたプログラムです。

当院の小児科・NICUを中心としながら、小児外科・産科、さらには自由選択で連携施設である市中病院の小児科・NICUで研修する事で、子どもに関連する幅広い疾患を経験することが出来ます。

小児科研修のみならず、内科・外科研修・地域医療研修を通じて数多くの患者さんに接し、診療する事で、医師として必要

な基本的臨床能力を身につけるだけでなく、その人格をかん養し、科学的探究心を持ち続けられる人材を育成する事を目指しています。

子どもを治す事に喜びを感じ、自分自身も成長し続けたいと考えている方には最適の環境です。皆様にとって、ロールモデルとなる小児科医とも出会えると思います。是非、慶應義塾大学病院小児科医育成プログラムに入り共に学んでいきましょう。



[プログラム責任者]
卒業臨床研修センター
有光 威志

MESSAGE 03

[研修医からのメッセージ]

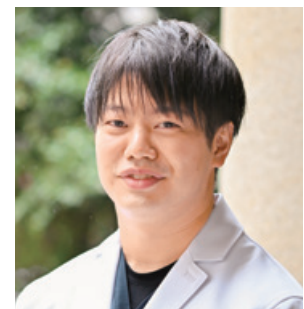
臨床力と人間性を育てる、慶應の小児科医育成プログラム。

慶應病院の小児科医育成プログラムでは、血液、心臓、PICU、NICU、精神保健など幅広い専門分野で最先端の医療を学び、将来を見据えた研修が可能です。小児科に加え、早期から麻酔科や救急科で基本手技を習得でき、研修の土台を早い段階で築ける点も特徴です。さらに、東京都立小児総合医療センターなどの関連施設を研修先として選択でき、重症例・難治性疾患から一般的な疾患まで幅広く対応する力を高められます。

同期や指導医の先生方は温かく、各科に優れたロールモデルがいます。仲間と切磋琢磨しながら、

医師としてだけでなく人としても成長できる環境が整っています。

慶應義塾大学病院は、将来を見据えた充実した研修を通じて臨床力と人間性の双方を育てる場所です。ぜひ一度見学にお越しください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



2025年度
小児科医育成プログラム
田中 充
(2年間、慶應義塾大学病院)

産婦人科医育成プログラム

2027年度定員 2名 (予定)

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間に慶應義塾大学病院で研修する、産婦人科医を目指す人のためのプログラムです。

※2年次のローテーションは順不同

1年次	産婦人科 (8週)	外科・小児・精神の1診療科 (4週)	救急 (8週)+麻酔 (4週)	内科 (24週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む: 4週)	外科・小児・精神 (未研修の診療科: 8週)	産婦人科 (8週)	選択 (28週)

研修は産婦人科からスタート

- 麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。
 - 一般外来 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週間以上行います。
 - 小児科研修を新生児救急としてNICU研修とすることも可能です。
 - 産婦人科研修期間中に限り、産婦人科当直研修をすることが可能です。
- *当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE from CENTER STAFF

産婦人科以外の診療科ローテートにこそ初期研修の意義

本プログラムは、原則、産婦人科医を志望する方向けにプログラムを組んでいます。
産婦人科の診療内容は多岐にわたります。妊娠、出産、不妊治療～悪性腫瘍の手術、化学療法まで、と内科的、外科的に側面を持ち合わせています。それ故、様々な関連診療科との連携が重要です。
実は、産婦人科以上に、そういった関連診療科をローテートすることが重要であり、選択期間を長く設定しています。
初期臨床は関連診療科側から産婦人科の姿を見られる良

い機会であり、指導医も志望をわかっている、「産婦人科医になるなら知っておいたほうがいいポイント」に絞った指導も望めます。より効率的な2年間になりますので、志望が決まっている方には特にオススメです。
また産婦人科一択でなく、他の診療科に進んだとしても、産婦人科的な視点、また女性を診療するということの基本が身につくというメリットがあります。志望によらず、女性のミカタになりたい方、お待ちしております！



[プログラム責任者]
卒業臨床研修センター
野上 侑哉

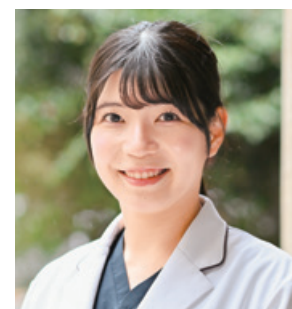
MESSAGE 04

【研修医からのメッセージ】

“やってみたい”がどんどん叶う産婦人科研修！

産婦人科育成コースでは、1年目の4月・5月に大学病院の産科・婦人科をそれぞれ1か月ずつローテートします(他コースは各2週間)。早い段階からじっくりと産婦人科に向き合える点が大きな魅力です。
さらに2年目には、希望する時期に産科・婦人科を最低1か月ずつ優先的に選択でき、研修先も大学病院に加えて地域の市中病院から選ぶことが可能です。加えて、本コースのみ産婦人科研修期間中に産婦人科当直を経験でき、より実践的な力を身につけることができます。
研修内容も非常に充実しています。産科では、経膈分娩や帝王切開、不妊治療を経験できるほか、超音波検査を実際に担当する機会も豊富にあります。婦人科では、腹腔鏡手術や開腹手術に助

手として参加し、積極的に手技を学ぶことができます。
また、慶應義塾大学病院には教育熱心で指導力に優れた先生方が多く在籍しており、手技の経験を数多く積むことができます。実際に自ら手を動かしながら感覚を身につけ、検査や治療の意義・原理まで丁寧に教えていただけるため、日々深く、実りある研修を実感しています。
研修医同士の仲も良く、診療中は互いに教え合い高め合える環境です。休日には旅行や食事を楽しまれることも、仕事とプライベートのどちらも充実した日々を送っています。
産婦人科を志す方にとって、大きく成長できる環境が整っています。
ぜひ私たちと一緒に慶應で研修しませんか。



2025年度
産婦人科医育成プログラム
大河内 愛
(2年間、慶應義塾大学病院)

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

広域連携型プログラム

2027年度定員 4名(予定)

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 慶應義塾大学病院を拠点としながら、医師少数県に所在する連携病院での研修を組み合わせ、複数の医療現場での経験を通じて多角的な視点を養うプログラムです。

広域連携型プログラム1 北見赤十字病院

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科：各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅を含む：4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	選択 (~40週)	

1年次：慶應義塾大学病院，2年次：北見赤十字病院で研修を行います。

○救急部門の研修については、原則，1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修，4週を麻酔科で研修します。

○一般外来の研修を行う診療科は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療でも行います。（4週以上）

○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

広域連携型プログラム2 宮崎大学医学部附属病院

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科：各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅を含む：4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	選択 (~40週) 【連携先病院での研修期間24週を含む】	

1年次：慶應義塾大学病院，2年次：半年間を宮崎大学医学部附属病院にて研修し、残りの半年間を慶應義塾大学病院にて研修します。

○救急部門の研修については、原則，1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修，4週を麻酔科で研修します。

○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。

○2年次の必修研修のうち、【地域医療研修（一般外来・在宅医療研修含む）（4週）】は宮崎大学医学部附属病院にて研修を行います。【外科・小児・産婦・精神の1年次に研修していない診療科での研修（4週）】については、慶應義塾大学病院／宮崎大学医学部附属病院 いずれかにおいて研修を行います。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

TRAINING INSTITUTIONS

2027年度 連携病院一覧

1 北見赤十字病院

2 宮崎大学医学部附属病院

※連携病院（予定）2026年4月現在。上記から変更となる可能性があります。

MESSAGE from CENTER STAFF

多様な医療現場を経験し、柔軟で足腰の強い医師を目指そう！

広域連携型プログラムは、慶應義塾大学病院を拠点に、北見赤十字病院、宮崎大学医学部附属病院と連携し、医師少数県を含む多様な医療環境での研修を提供します。高度専門医療から地域医療まで幅広く学ぶことで、自分の強みを発見し、将来のキャリアの幅を広げることができます。

本研修では、異なる医療環境への柔軟な対応力や幅広い診療能力を身につけ、医師として重要なスタート地点である研修医時代に、プロフェッショナリズム、チーム医療を支えるコミュ

ニケーション能力とリーダーシップを養います。また、学会発表や研究活動を通して学術的な成長も促していきます。

本プログラムを通じて、多角的な経験を重ね、視野を広げることで、どのような医療現場でも柔軟に対応できる「足腰の強い医師」へと成長できるはずです。ぜひ、積極的に挑戦し、医師としての幅を広げていきましょう。



[プログラム責任者]
卒後臨床研修センター
センター長
山口 慎太郎

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

基礎研究医プログラム

2027年度定員 2名 (予定)

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 臨床研修と基礎研究の両立を可能とする基礎医育成プログラムです。

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科・各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む: 4週)	外科・小児・産婦・精神 (末研修の診療科: 各4週)	選択 (~40週) (基礎医学系教室での研修期間を含む)	

- 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。
 - 原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。
 - 2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。
 - 2年次の選択研修期間中に、16週以上24週未満の間は基礎医学系教室に所属し研究活動を行います。
- *当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

基礎医学系教室での指導分野

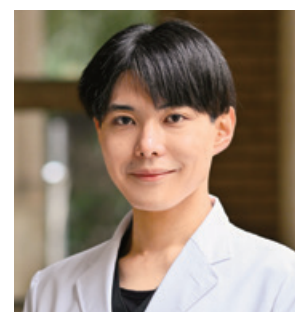
1	解剖学
2	生理学
3	薬理学
4	医化学
5	分子生物学
6	衛生学公衆衛生学
7	感染症学
8	病理学
9	微生物学免疫学
10	法医学
11	医療政策・管理学
12	臨床遺伝学・先天異常学
13	細胞組織学
14	脳科学
15	拡張知能医学
16	がん免疫学

MESSAGE 05

[研修医からのメッセージ]

研修と研究を両立できる理想的な環境

私が慶應義塾大学病院を研修先を選んだ理由は、指導医の先生方が非常に教育的であり、個人のやる気次第で密度の高い研修を送ることができるかと先輩研修医から伺ったためです。加えて、学生時代から続けてきた基礎研究活動を途切れさせることなく臨床研修と並行して発展させたいと考え、この基礎研究医プログラムを選択しました。本プログラムの大きな魅力は、最大半年間、研究活動に専念できる期間が設けられているが、初期臨床研修も着実に修了できる点にあります。研修環境としては、指導医の先生方が日々の診療の中で丁寧に指導してくださり、疑問点にも気軽に相談できる雰囲気があり、非常に学びやすい環境だと感じています。また、専門性の高い症例が集まる大学病院ではありますが、common diseaseを学ぶ機会も十分に存在しています。実際に、全身状態不良で入院された患者さんを指導医の先生と継続して診察することで、病態の把握から治療方針の検討に至るまで一般内科的な診療の進め方や全身管理について実践的に学ぶことができました。基礎研究医コースは学生時代から研究活動を行っている人に向けたコースと思われるかもしれませんが、研修医になってから研究を開始された先輩もおり、臨床研修を行いながら研究にも挑戦したい方にとって、非常に理想的で魅力のあるコースだと感じています。



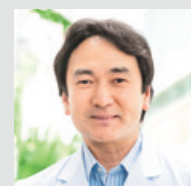
2025年度
基礎研究医プログラム
生田 光
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

「診療のできる基礎研究医」を養成し、キャリア形成の幅を広げます

世界的に基礎医学研究の重要性が再認識されている中で、厚生労働省が新たに打ち出したプログラムです。基礎医学研究に意欲がある方を対象に、慶應義塾大学が有する恵まれた環境とリソースを活用して、臨床研修と基礎医学研究の両立を目指します。1年目には各診療科領域の指導医から基本的診療やチーム医療を学ぶと共に、受け持った症例や遭遇した医療上の未解決点を研究課題へと変換する思考法を学びます。また、2年目の選択研修期間のうちの一定期間(16週～24週)

基礎医学系教室に所属して医学研究を行うことができます。このプログラムでは臨床研修の到達目標を達成しながら「診療のできる基礎研究医」を養成しますので、社会からのニーズに応えるだけでなくあなたのキャリア形成の幅を大きく広げることにつながります。慶應義塾大学医学部では、様々な研究領域の最先端を走る研究者が指導者となり、この新たなプログラムの目的の達成に最適な環境を提供できますので、是非挑戦してみてください。お待ちしております。



[プログラム責任者]
卒後臨床研修センター
平橋 淳一

教育指導体制

STYLE of TRAINING

熱心な指導医のもと、チーム医療の一員となり、手技や知識を習得します。

信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

信濃町メディアセンターは、医学関連分野の専門図書館として国内屈指の蔵書数・電子ジャーナル点数を誇るだけでなく、総合大学の強みを活かし、幅広い分野の文献にも容易にアクセスできる点が魅力です。

土日も開館しており、館内にはグループ利用も可能な「マナビバ」や静かな学習席、オンライン授業／会議優先席の「eラーニングルーム」など、多様な学習スペースをご用意しています。

学びをさらに深めるための各種講習会や、検索相談にも応じています。



医
科

クリニカル・シミュレーション・ラボ

2003年8月に第1クリニカル・シミュレーション・ラボを東校舎に開設し、2023年6月に第2クリニカル・シミュレーション・ラボを病院2号館10階に開設しました。

研修医はもちろん、医学部生、看護医療学部生、看護師その他メディカル・スタッフの方が随時トレーニングを行えるよう、様々なシミュレーション機器を取りそろえています。また、管理人が常駐し、BLS、二次救命処置等の講習会も開催されています。



ランチョンセミナー

木曜日のランチタイムに、初期研修で必要な教育講演や、研修医による「症例呈示・レクチャー」、連絡会が行われています。対面での講習に加え、オンデマンドでの講習も行われています。

2026年度 ランチョンセミナー（対面）

	講義内容例		講義内容例
1	保険医集団指導	8	人工呼吸器のイロハ
2	院内暴力・暴言・迷惑行為	9	研修医による症例呈示・レクチャー
3	インシデントレポートについて	10	適切な輸血を実践するために把握すべき事項
4	研修医による症例呈示・レクチャー	11	病棟で緊急対応が必要な意識障害の診療
5	スムーズな後方連携	12	病棟で緊急対応が必要な腹部疾患
6	輸液管理	13	術前術後の血糖管理
7	抗菌薬の使い方	14	研修医による症例呈示・レクチャー

協力型病院研修 REPORT

川崎市立 川崎病院

(神奈川県 川崎市)



[協力型病院からのメッセージ]

手厚く支えて自由に伸ばす ー理想的な臨床研修のかたちー



川崎市立 川崎病院
教育指導部長・
研修管理委員長
津村 和夫 先生

川崎市立川崎病院は、人口約155万人を擁する川崎市南部最大の基幹病院です。地域から求められる多様な医療ニーズに幅広く応え、活気と温かさに満ちた診療の現場が広がっています。全国でも高い評価を受ける手厚いスタートアップ研修や、豊富な症例に触れられる救急医療研修などが特色ですが、何よりも一人ひとりの臨床研修医に丁寧に寄り添う指導

体制こそが、本院の大きな魅力です。

慶應義塾大学病院の地域一大学循環プログラムの開始以来、毎年4名の研修医を受け入れてまいりました。大学へ戻られる際に見せてくださる確かな成長は、私たちにとって何よりの喜びです。慶應義塾大学病院での研修に関心をお持ちの皆さんには、ぜひ地域一大学循環プログラムを通じた市立川崎病院の研修で、医師と

しての第一歩を力強く踏み出していただきたいと願っております。

2026年秋には新たな救命救急センターが竣工予定です。充実した環境のもと、高い志を持って全国から集う仲間とともに過ごす日々は、将来にわたり皆さんを支える糧となり、かけがえのない経験になることでしょう。お会いできることを楽しみにしております。

REPORT 01

[協力型病院研修レポート]

圧倒的な症例数と救急対応で磨く、医師としての実践力

川崎市医療の中核を担う当院を選んだのは、診療科を問わず急性期医療の最前線で、汎用性の高い臨床能力を養いたかったからです。3次救急の現場は、Common Diseaseから重篤疾患まで多岐にわたり、自らの手で初期対応を実践する機会に溢れています。内科

では指導医とのマンツーマン体制で密に学びつつ、他科の先生方も優しく気にかけてくださる、垣根のない温かい雰囲気魅力です。手厚い指導と豊富な症例に恵まれ、安心して挑戦できるこの環境で、医師としての確かな土台を築けることに深く感謝しています。



2025年度 地域一大学循環プログラム
佐藤 綾音
(1年目、川崎市立川崎病院
2年目、慶應義塾大学病院)

ある1日の研修スケジュール

8:00 ~ 8:30	8:30 ~ 9:00	9:00 ~ 12:00	12:00 ~ 13:00
カンファレンス	病棟ラウンド	病棟業務	昼食
内科研修では、内科学会地方会レベルのプレゼンテーションを毎月行うので、とても鍛えられます。	指導医からのマンツーマン指導を受けながら、1人ひとりの患者さんを回診します。	その日の病状や検査結果を見ながら、治療方針を考えます。メディカルスタッフさんとの交流も多いです。	先輩たちと談笑しながらのお昼休憩。
13:00 ~ 17:00	17:00 ~ 17:30		ときどき
外来研修	病棟業務		症例発表の準備
外来患者さんを、問診から検査指示、治療決定まで、研修医が主体的に行います。	1日の最後に指導医からのフィードバックを受けながら、明日以降のプランを確認します。		症例発表が近いときは、おやつを食べながらスライド作成などの指導を受けます。

吹き抜けエントランス
神奈川建築コンクールで優秀賞を受賞した市立川崎病院は、「白い巨塔」をはじめとした数多くのドラマのロケ病院になっています。



スタートアップ研修
最初の4週間は基本的な知識と技術を集中的に学びます。この間に研修医同士の絆が深まります。



ヘリポートから
ヘリポートからは、東京タワーやスカイツリー、横浜みなとみらい地区など、東京・神奈川一帯を広く見渡すことができます。





地域医療研修
REPORT

野村皮膚科医院

(神奈川県 横浜市)

[地域医療研修病院からのメッセージ]

乳幼児から高齢者まで幅広い皮膚疾患と地域医療を経験しませんか？



野村皮膚科医院
院長
野村 有子 先生

当院はかかりつけ医として地域医療に貢献している皮膚科医院で、乳幼児から高齢者まで幅広く皮膚疾患の治療を行っています。皮膚科はどの科にも関連性があり、蕁麻疹や感染症、薬疹を含め、臨床現場で様々な皮膚疾患を経験して頂くことができます。また、今年度より再生医療にも取り組んでおります。充実した研修期間を過ごして頂くために、スタッフ一同一丸となってサポートしております。

当院での研修内容

- ・一般診療でもよく診る皮膚疾患の診断、治療が的確にできるように指導を行います。
- ・軟膏処置、創傷処置、熱傷処置などの処置方法や、光線療法などを実践で学びます。
- ・皮膚手術について、そのスペシャリストから直接手技を学びます。
- ・重症のアトピー性皮膚炎や蕁麻疹に対して、生物学的製剤による治療の他、アレルギー対応モデルルームでの生活指導、アレルギー対応カフェを利用した食事指導、パッチテストや血液検査等でのアレルギーの原因検索について学びます。
- ・フットケア外来、シューズカウンセリングで、足の疾患やケア法を学びます。
- ・難治性の脱毛症に対するJAK阻害薬や免疫療法、AGA外来で毛髪について学びます。
- ・往診に同行し、在宅医療での皮膚疾患の対応や褥瘡処置について学びます。
- ・病診連携、診診連携、災害医療など地域での役割を、勉強会や講習会などへの参加を通して学ぶことができます。

医
科

REPORT
02

[地域医療研修レポート]

地域に愛されるクリニックで得た、医師としての指針

地域のかかりつけ医として親しまれる野村皮膚科は、専門性の高い医療とアットホームな雰囲気が両立したクリニックです。研修では、疾患へのアプローチから最新の治療選択まで幅広く

経験でき、患者さん一人ひとりのQOL向上を目指す真摯な姿勢に感銘を受けました。ここで得た学びは、今後の医師人生において大きな財産となりました。



2024年度 大学一貫プログラム
崎山 恵利香
(2年間、慶應義塾大学病院)

ある1日の研修スケジュール

9:00 ~ 12:00

外来見学

院長先生の外来診療を見学させていただきます。

12:00 ~ 13:30

訪問診療

医師及び看護師に同行し、市内の老人ホームの入居者の診察を行います。

13:30

昼食

控室にて、近くのパン屋さんやコンビニで購入した昼食をとりまします。

15:00 ~ 18:00

処置室見学

看護師と共に、患者さんの皮膚科処置を行います。

待合室

バリアフリーの対応になっています。



アレルギー対応
モデルルーム

防ダニ布団、調湿・脱臭効果がある壁素材、ダニが発生しにくいコルク床など、アレルギー対策の生活指導ができる部屋になっています。



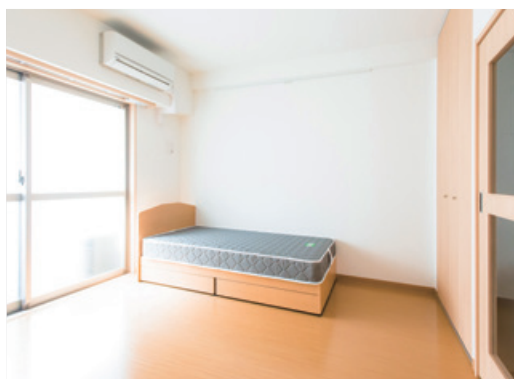
スキンケア製品展示コーナー
皮膚疾患を持っている患者さんでも安心して使用できるスキンケア製品や肌着を展示しています。スキンケア製品はサンプルも準備しており、肌に合うものを見つけてくれるコツを指導しています。



FACILITIES [施設紹介]

病院正門を入ると左側には緑の木立が並びます。図書館や近代的な病棟、最新設備が揃った外来棟。神宮外苑や新宿御苑に囲まれた慶應義塾大学病院は、癒されながら伸び伸び学習可能な研修空間です。

研修環境



研修医寮

病院敷地内に紅梅寮、当院から徒歩10分以内にワンルームマンションタイプのクレール御苑前とセレスト四谷三丁目の全32部屋（単身者用）の研修医寮があります。寮費は敷地内の寮が22,000円、ワンルームタイプ（約23㎡）が約6万円です。

（応募多数の場合抽選）



外観



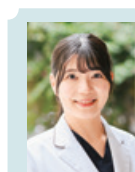
エントランス



宅配BOX



キッチン



【入寮者からのメッセージ】

寮は3タイプ。いずれも病院から徒歩5～10分で、通勤もスムーズです。落ち着いた住宅街にあり治安も良好。周辺にはスーパーや薬局、飲食店が充実し、日々の生活にも困りません。さらに徒歩圏内に3駅・3路線があり、休日のお出かけにも便利な立地です。室内はきれいで快適、寮費も抑えられており、安心して新生活をスタートできます。

2025年度 産婦人科医育成プログラム 大河内 愛（2年間、慶應義塾大学病院）

※写真はクレール御苑前の紹介です。



信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

メディアセンターは皆さんの診療・研究を支える情報源の宝庫です。伝統ある建屋でくつろぎのひとときを過ごすとともに、いつでもどこでも電子的に論文を入手できる魅力を存分に味わってください。



研修医ラウンジ（1号館2階）

研修医が学習スペースとして、24時間利用することができます。教育研究ネットワークにアクセス可能な無線LANも完備しています。

院内施設



スターバックス

〈1号館1階〉 広々としたくつろぎのスペースで、つかの間の休憩を。スタッフ専用のスペースもあります。



カフェ・ド・クリエ

〈2号館2階〉 店内は広々としており、こだわりのコーヒーや、季節のフードやスイーツがいただけます。



レストラン ザ・パーク

〈2号館11階〉 緑豊かな神宮外苑を一望できる帝国ホテルのレストランです。



ナチュラルローソン

〈1号館2階〉 24時間、年中無休



ファミリーマート

〈2号館2階〉 24時間、年中無休



信濃町生協

〈病院棟裏〉 1階では弁当、菓子、飲物が販売され、イトインスペースが併設されています。2階は書籍売場になっています。

SCHEDULE & INFORMATION [年間スケジュール&募集要項]

年間スケジュール (2026年度予定)

		学生	研修医1年目	研修医2年目
5月	9日	歯科・口腔外科プログラム説明会	4月	研修医・専修医オリエンテーション, PICC講習会, シリンジポンプ サーフロー留置針講習会, 電子カルテオリエンテーション, CSL実習, 点滴調剤研修等 (4月初旬～)
	下旬	基礎研究医プログラム研修医採用試験		
6月	上旬	歯科医師マッチング参加登録開始	5月	オープンホスピタル (6月) 専修医説明会
	13日	医師マッチング参加登録開始	6月	
7月	11日	第1回医科研修医採用試験 (地域-大学循環, 大学一貫, 小児科医育成, 産婦人科医育成, 広域連携型)	7月	2年次研修先調整開始 (予定)
	18日	歯科・口腔外科研修医採用試験(1次・2次)	8月	
	25日	歯科・口腔外科研修医採用試験 (2次)	9月	
8月	下旬	歯科医師マッチング参加登録締切	10月	専修医応募 (予定) 専修医採用試験 (予定)
		医師マッチング参加登録締切		
9月	12日	第2回医科研修医採用試験 (地域-大学循環, 大学一貫, 小児科医育成, 産婦人科医育成, 広域連携型)	11月	専修医採用決定 (予定)
	上旬	歯科医師マッチング希望順位表登録締切		
10月	下旬	医師マッチング希望順位表登録締切	12月	研修修了判定 (3月上旬) 修了式・懇親会 (3月下旬)
		歯科医師マッチング結果発表		
12月	中旬	地域-大学循環プログラム研修先決定	1月	
2月	上旬	歯科医師国家試験 (予定)	2月	
		医師国家試験 (予定)	3月	
3月	中旬	医師・歯科医師国家試験発表		

医
科

医科研修医募集要項

- 募集人数**
 - 地域-大学循環プログラム : 協力型臨床研修病院と慶應義塾大学病院にて各1年間 34名
 - 大学一貫プログラム : 慶應義塾大学病院にて2年間 9名
 - 小児科医育成プログラム : 慶應義塾大学病院にて2年間 2名
 - 産婦人科医育成プログラム : 慶應義塾大学病院にて2年間 2名
 - 広域連携型プログラム : 慶應義塾大学病院にて2年間 4名
 - ※2年次に連携病院にて24週以上研修
 - 基礎研究医プログラム : 慶應義塾大学病院にて2年間 2名
- 待遇**
 - ・給与(年額)約360万円(当直料を含む) ・健康保険, 厚生年金, 雇用保険, 労災加入
 - ・宿舎有り(全32部屋(原則, 抽選により決定), 費用は月額22,000円～61,200円, 医科および歯科で共有)(2026年3月現在)
 - ※協力型臨床研修病院においてはその施設の待遇に準ずる。
- 選考内容**
 - 地域-大学循環プログラム, 大学一貫プログラム, 小児科医育成プログラム, 産婦人科医育成プログラム, 広域連携型プログラム
卒業臨床研修センターのホームページにてお知らせする予定です。
 - 基礎研究医プログラム
1) 研究内容についてのプレゼンテーション, 2) 面接
- 選考日および募集期間**
 - 地域-大学循環プログラム, 大学一貫プログラム, 小児科医育成プログラム, 産婦人科医育成プログラム, 広域連携型プログラム
第1回 2026年7月11日(土)
第2回 2026年9月12日(土) *受験はどちらか一方のみに限る。
 - 基礎研究医プログラム (選考は終了しました。)
- 出願手続き**
 - ① 応募方法
卒業臨床研修センターホームページのWebエントリーシステムにアクセスし, 必要事項を登録してください。
 - ② 応募書類
卒業臨床研修センターのホームページにてお知らせする予定です。
- 問い合わせ先**
 - 慶應義塾大学病院卒業臨床研修センター
mail: med-srk-center@adst.keio.ac.jp
 - ※最新情報は卒業臨床研修センターのホームページをご覧ください。

▶ <http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/admission/medicine.html>



OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

歯科・口腔外科プログラム

定員9名

▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。

※2年次ローテーションは順不同

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	Aグループ	歯科			口腔外科			歯科			口腔外科		
	Bグループ	口腔外科			歯科			口腔外科			歯科		
2年次	Aグループ	歯科				麻酔科				口腔外科			
	Bグループ	口腔外科				歯科				麻酔科			
	Cグループ	麻酔科				口腔外科				歯科			

MESSAGE 10

[研修医からのメッセージ]

高度医療を学び、実践力を養うことができる研修環境

慶應義塾大学病院の当プログラムは2年の研修期間を通して、多領域を高い水準で学ぶことができ、歯科医師としての確かな土台を築くのに最適な環境です。1年目は、歯科と口腔外科を、2年目はそれに加えて麻酔科も含めたローテーションで、幅広い知識と技術を身につけることができます。歯科では、一般的な歯科治療のみならず、歯周外科治療や総義歯作成といった応用的な内容を、実際に経験することができます。また、病棟患者の口腔管理や、ペインなども学ぶことが可能です。一方口腔外科では、顎変形症や口腔がんの入院患者さんの病棟管理を、チームの一員として実際に経験することができます。また、抜歯や生検などの観血処置といった口腔外科単独の治療はもちろんです

が、他科の依頼で頭頸部外科の手術に携わったり、骨髄移植患者さんの口腔ケアなどといった、慶應義塾大学病院ならではの経験や、チーム医療としての歯科医療も学ぶことができます。当院の歯科・口腔外科教室の最大の特徴は、様々な分野における指導医や専門医が在籍しており、高度な歯科医療を間近で学ぶことができる点です。また、当教室は雰囲気も良く、先生も優しいのでわからないことがあればすぐに質問できる環境が整っています。加えて研修医間の仲も良く、互いに高め合いながら精進することができます。ぜひ当院でしか経験することができない歯科医療をともに学び働くことを楽しみにしております。



2025年度
歯科・口腔外科プログラム
杉岡 真樹
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from PROGRAM STAFF

2年間慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。歯科分野と口腔外科分野のどちらにも充実した専任のインストラクターがあり、歯科分野では指導医の資格を持つ歯周病専門医、補綴専門医、顎関節専門医が高いレベルでの研修を行います。口腔外科においても指導医の資格を持つ口腔外科専門医から、基本的な手技から専門的な治療までを学ぶことができます。口腔外科では、外来だけでなく、病棟での周術期管理も研修します。研修2年目では、歯科、口腔外科のローテーションに加え、麻酔科研

修を行い全身管理についての理解を深めていきます。毎週、各分野のカンファレンスがあり、業務としてのみならず、知識としても身につくと確信しています。このように、他の施設にはないオンリーワンの魅力を活かして、有益な研修生活を送ってほしいと願っています。そして、研修医のあとも、継続して専修医として臨床を究めようとする道、大学院生として臨床の疑問を研究で明らかにしようとする道など、いろいろな可能性を用意して皆さんをお待ちしています。

歯科・口腔外科 教授 中川 種昭



当科では歯科と口腔外科をバランス良く研修することができるように、「オンリーワン」のプログラムをモットーに皆さんをお待ちしております。

歯科・口腔外科研修医募集要項

1. 募集人数 9名

2. 待遇
 - ・給与(年額)約265万円(当直料別) ・健康保険, 厚生年金, 雇用保険, 労災加入
 - ・宿舎有り(全32部屋(原則, 抽選により決定), 費用は月額22,000円～61,200円, 医科および歯科で共有)(2026年3月現在)

3. 選考内容 筆記試験(歯科, 口腔外科全般から出題), 英文読解, 面接

4. 選考日
 - 1次 2026年7月18日(土) 9:00-12:00
 - 2次 2026年7月18日(土) 13:00-17:00, 2026年7月25日(土)終日(予定)

5. 募集期間 2026年5月11日(月)～7月9日(木) ※最終日は17時締切

6. 応募資格
 - ・大学歯学部または歯科大学を2027年3月に卒業予定の者
 - ・歯科医師臨床研修マッチングに参加する者
 - ・CBT共用試験の結果を有する者

7. 応募書類 「基本情報」「補足事項」「成績証明書(写)」「卒業見込証明書(写)」「応募者を良く知る者からの推薦書」「CBT共用試験の結果(スコア)(写)」

8. 問い合わせ先 慶應義塾大学病院卒後臨床研修センター
mail: med-srk-center@adst.keio.ac.jp

※最新情報は、卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください

▶ <http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/admission/dentist.html>





Access

- J R 総武線「信濃町」駅下車, 徒歩約1分
- 地下鉄 都営大江戸線「国立競技場」駅下車 (A1番出口), 徒歩約5分
丸の内線「四谷三丁目」駅下車 (1番出口), 徒歩約15分
半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車 (0番出口), 徒歩約15分
- バス 新宿駅西口-品川車庫前 (品97)「信濃町駅前 (慶應病院前)」下車
早大正門-渋谷駅東口 (早81)「四谷第六小学校入口」下車



慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
Tel.03-5363-3249
e-mail:med-srk-center@adst.keio.ac.jp
<http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/>